市川市公共交通協議会

平成21年1月15日設置
平成21年3月2日連携計画策定

概　要

本市では、鉄道駅を中心にバス路線網が整備されているが、道路整備が追いつかず、面的な都市整備の遅れもあり、急速な市街化が進んだ地域において交通不便地が点在している。バスの運行便数の減少は進んでいるものの、高齢化の進展や自動車保有台数の減少もあり、平成15年を下限としてバス利用者数は、横ばいからやや増加傾向にある。収益の悪化した路線バスの再編にあたり、住民ニーズに適合した運行計画への変更や地域住民の協力により利用を促進し運行継続を可能とする実証実験を実施する。

○市内公共交通の現況

・鉄道7路線、16駅
　JR：総武本線2駅、武蔵野線1駅、京葉線2駅
　民鉄：京成電鉄5駅、東京地下鉄3駅、北総鉄道2駅、
　　東京都交通局1駅
・民間バス14路線（京成バス㈱、京成トランジットバス㈱）
・市川市コミュニティバス2路線

○柏井線の実証実験運行

・期　間　平成22年4月1日～平成23年3月31日
・ルート　西船橋駅（朝夕のみ）～下総中山駅～若宮小学校～
　　北方町4丁目～船橋法典駅～柏井～市営霊園～
　　保健医療福祉センター（開所時間のみ）
・本　数　平日40往復（土休日31往復）
・運　賃　160円～370円（対距離運賃）

○利用促進方策

・自治会を通じた乗車運動の実施
・新聞折込による周知活動の実施